



茶室

Tea-ceremony room



間取りは4.5畳の広間、4畳の水屋、6畳の寄付き待合です。
つくばい、にじり口もあり、区内では数少ない本格的な茶室
です。茶道具の無料貸出も行っています。
季節に合わせた山本亭主催のお茶会を行っております。
初心者の方もどうぞお気軽にご参加ください。
(一般開放は行っておりません。)

貸室利用ご案内

山本亭では、茶室のほか、各部屋も貸切でご利用
いただけます。句会・茶会・クラス会などにどうぞ。
お弁当もご相談ください。

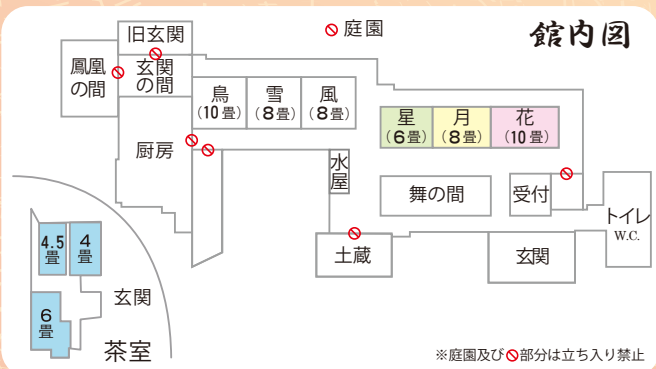
貸室ご利用料金

	広さ	午前	午後	全日
		9時～12時30分	1時～4時30分	9時～4時30分
花の間	10畳	1,400円	1,400円	2,800円
月の間	8畳	1,000円	1,000円	2,000円
星の間	6畳	700円	700円	1,400円
茶室	1棟	3,900円	3,900円	7,800円

土曜・日曜・祝日のご利用はできません。
詳しくはお電話にてお問い合わせ下さい。

申込み方法

- ◇利用日の3か月前の第2火曜日(休日の場合は翌日)から「山本亭」にて申込みを受付けいたします。
- ◇利用日の3日前までにお申込み下さい。
- ◇利用日の7日前以降でのキャンセルは、原則として返金いたしかねます。



※庭園及び部分部分は立ち入り禁止

ご案内

- 開館時間 ●午前9時から午後5時迄
- 休館日 ●第3火曜日・12月の第3火～木曜日
年末年始も営業いたします。
- 入館料 ●お一人様 100円
- 中学生以下及び障害者手帳をお持ちの方等は無料。
- 『山本亭』と、隣接する『寅さん記念館、山田洋次ミュージアム』の両施設をご利用になる場合、セット券での入館がお得です。(両施設当日利用に限る)



利用上のご注意

- 施設内への飲食物の持込みはできません。
- 物品の販売などの営業行為はできません。
- ペットを連れてのご入館はご遠慮ください。
- 当施設には駐車場がございませんので、江戸川河川敷の駐車広場をご利用ください。(有料)



葛飾区山本亭

〒125-0052 葛飾区柴又7-19-32

電話 03-3657-8577 FAX 03-3671-2566

葛飾観光ポータルサイト <http://www.katsushika-kanko.com/>

山本亭の沿革

山本亭のある場所は、江戸時代後半から瓦製造を行っていた鈴木家の屋敷と瓦工場がありましたが、1923年（大正12）の関東大震災によって、瓦製造をやめてしまい、その跡地に台東区でカメラ部品を製造していた山本栄之助氏がここに居を移し、整備されたものです。

山本亭の特徴は、近代和風建築と純和風庭園が見事に調和しているところです。母屋は書院造り風の古風な日本建築ですが、1933年（昭和8）頃までの増改築により、廊下には近代に流行るガラス戸を巡らして野外と室内を仕切り、鳳凰の間と呼ばれる応接間を増築、さらに洋風にアレンジした長屋門など洋風の造形も加わりました。地下に築かれた防空壕も山本亭の歴史遺産としての価値を高めています。

庭は、面積こその他の著名な庭園に比べ小さいものの、その狭さを、奥に滝を配して奥行きを持たせ、池の岸にアクセントをつけて広がりを持たせるなど、日本の伝統的な庭造りの工夫が見られます。

山本亭は、1988年（昭和63）に葛飾区が取得し、柴又公園の整備の一環として手が加えられ、1991年（平成3）の柴又公園の開園とともに一般公開されました。



居宅

Living room

和室6部屋のうち角部屋にあたる2部屋は、床の間、違い棚、明かり障子、欄間から成り立つ伝統的な書院造です。家全体を取り巻く廊下は、天井が数寄屋風で、自然光を意識した大きなガラス戸やガラス欄間で包まれています。

庭は、『花の間』の床柱を背にして眺めるのが一番素晴らしく見えるように設計されています。すべての部屋も廊下を挟んで庭に面し、壁のほとんどない開放的な意匠を見せています。



長屋門

Nagaya-gate

瓦葺きの木造平屋で伝統的な長屋門の形態を踏襲しながらも、外観・内部とも意匠を洋風化している点が特徴です。

通路の両側にある3畳ほどの袖部屋は、門番が常駐し、客人のお付きの人、人力車の車夫などが控えていたとされています。



鳳凰の間

Drawing room



邸内で唯一の洋間であり、昭和初期独特のデザインです。

白漆喰仕上げの高い天井や、寄木を用いたモザイク模様の床のほか、大理石のマントルピース、ステンドグラスが見どころです。玄関脇に洋間の空間を設けることは、斬新なスタイルでした。



主庭

Main garden

縁先の近くには池泉を、背後には植え込みと築山を設けて滝を落とすという、典型的な書院庭園です。庭園の面積は約890㎡で、マツ、ツツジなどの樹木が植えられています。

滝は、池の最も遠い部分にあたる入江奥に設けられ、庭園に奥行きを深さと心地よい滝の音を造り出しています。



土蔵

Ware house

山本亭の中で最も古い建造物で、残念ながら築造年は不明ですが、山本氏が居を移す前から在ったようです。

外壁は土を厚く塗った2階建ての大壁造りで、基礎は凝灰岩、下端部は石張り、上端部は白漆喰塗りで仕上げられています。

喫茶メニュー

抹茶・ぜんざいのほか、コーヒーやラムネもご用意しております。庭園を眺めながら、ごゆっくりお過ごしください。

